

飯豊山

2105m

いいでさん
喜多方市
西会津町

豊富な残雪と多くの高山植物を楽しめる霊峰

コース定数	63
技術度	C
体力度	7
登り累積標高差	2344m
下り累積標高差	- 2344m
合計歩行時間	16時間30分
合計歩行距離	28km



飯の豊かさを象徴するといわれる飯豊山稲作信仰が、飯豊山頂に神社を祀り五穀豊穡を祈ったのである。春から夏にかけて、雪を抱いた飯豊山を眺めた時、誰でも神々が棲む山として畏敬の念を覚えずにはいられない。人々の山に対する自然な感情の表れであると思う。その白い山、飯豊連峰は日本有数の豪雪地帯である。冬の置きみやげの豊富な残雪は、連峰の至る所に湿性草原を作り、多くの高山植物が咲き乱れ、飯豊連峰の大きな魅力となっている。

御沢からすぐに本格的な登りが始まる。長坂と呼ばれ、辛く長い登りに耐えるところだ。唯一の慰め

は、周囲に鬱蒼と繁るブナの森である。下十五里、中十五里、上十五里を越えて横峰へと到着する。少し下り気味に進み地藏山を巻く途中、水場とな



飯豊山の固有種イデリンドウ

る。冷たい水を補給して進む。

再び登りとなり森を抜け、岩場のクサリ場の剣ヶ峰を慎重に越せば、小屋の建つ三國岳到着となる。三國岳からは展望の尾根歩きで、七森アップダウンの尾根を越えれば種時山へと着く。これを下れば花畑の切合小屋となる。ここには清水も湧いており、一口目は切合小屋に泊まる人が多い。

翌日できるだけ早発ちして、山頂を往復したい。切合小屋から草履塚までは雪渓が現れ花畑が美しいところ。草履塚山頂からは、これから登る飯豊山が高く大きくそびえる。草履塚から急坂を下りきったところには、姥神様が祀られている。いよいよ長い登りが始まる。御秘所と呼ばれる岩稜のクサリ場を越えて御前坂に掛かる。この急登に喘ぎ、高山植物を眺めながらゆっくりと高度を稼いでいく。急坂が収まると白砂の山頂稜線の一角にたどり着く。目の前には山頂神社と本山小屋が見える。

山頂神社に参拝して、一等三角点山頂を往復しよう。気分がよい稜線漫步を楽しみながら、飯豊山頂に到着する。山頂では最高峰の大日岳をはじめ、大展望を存分に楽しみたい。ここから登山口まで往路を戻すが、日程的に余裕があればもう一泊山小屋に宿泊したい。

【車でのアクセス】

磐城自動車道会津坂下ICから国道49号線を東進、国道43号線を北上、山都駅を抜けて国道459号線を北東へ向かい、相川地区で県道385号線を北上、いいでこの先の先で林道飯豊檜枝岐線に入り、川入から未舗装の道を御沢キャンプ場まで入る。駐車場あり。
【公共交通機関】 JR磐城西線「山都駅」下車。タクシーで川入御沢キャンプ場まで。往復の場合には予約した方がいい。夏季のみバスの便あり。

【問い合わせ】

- 喜多方市役所 観光交流課 観光・物産振興室 ☎0241(24)5249
- 西会津町役場 商工観光課 商工観光係 ☎0241(45)2213
- 飯豊山本山小屋と三國小屋 喜多方市山都総合支所 産業建設課 ☎0241(38)33001
- 切合小屋(長谷川俊治) ☎0241(24)4756

アドバイス

山頂への尾根に達するまでには、標高差にして1500m以上を登らなければならないので、健脚向きの山。登山は最低でも一泊以上の装備とそれを持ち上げる体力が必要である。

ポイント

【飯豊山登山イベント】初めて飯豊登山をするなら、喜多方市や西会津町が主催する「登山イベント」に参加するのがいい。市町村に問い合わせのい

